

■■ INDEX ■■

■■ 2023年4月:特集レポートダイジェスト ■■

特集①) 2023年GW商戦の動向/直近の好調・堅調物件事例 P.1～10

- 【1】 2023年GW商戦(4-5月)の動向
- 【2】 直近の好調・堅調物件事例
- 【まとめ】

特集②) 首都圏版:お客様意識調査 (2023年4月調査) P.1～12
～所得及び少子化対策の影響は如何に?～

- 【1】-①② 各種定点項目の結果ダイジェスト
- ◆直近の『住宅ローン金利』の動向

～TOPICS:所得の影響・少子化対策の影響～

- 【2】-①② 2023年の『収入の見通し』と住宅購入への影響
- 【3】-①②③ 「こども・子育て支援加速化プラン」:認知度・関心度
住宅購入への影響

【まとめ】

資料: 公的データからみる『年代別の平均年収』の推移

～次号(2023年5月)の予定～

◆特集レポート

- ・(仮)最近の商品傾向【コンパクト住戸の動向】

特集①) 2023年GW商戦の動向/直近の好調・堅調物件事例

2023年GW商戦(4-5月)の供給物件ラインナップは86棟(2022年4-5月:90棟)と概ね前年同程度。供給は、前年同程度70棟前後がスタートする見込みながら、集客・告知開始物件は34棟(2022年4-5月:43棟)と少なく、需給環境は良好なエリアが多い状況。

本レポートでは、コロナ収束により、行動制限の緩和やイベント開催の動き等が活発化する中、GW商戦の動きはどうなるのか? 2023年4-5月の新規スタート物件や販売好調・堅調事例などから、直近のマーケット環境を確認しました。

特集②) 首都圏版:お客様意識調査 (2023年4月調査)
～所得及び少子化対策の影響は如何に?～

2023年4月調査は、“コロナ収束”や“賃上げの動き”等をプラスと捉える声が増加し、景況感は改善。金利については、“日銀総裁交代後も、大規模金融緩和策の継続”との見方が強まり、先高感の落ち着きがみられた。

“金利や価格が上昇する前に購入したい”との意識の高まりから、住宅の買い時感は一時的に堅調水準を維持。

今回は、トピックスとして、賃上げが進む中での「所得の見通し」や3月に政府が発表した「少子化対策」の住宅購入への影響について確認しました。

【TOPICS】

- ◇2023年の所得の見通し、住宅購入への影響
- ◇「こども・子育て支援加速化プラン」の認知度・関心度
住宅購入への影響 等